



# 六郷 ろくごう

六郷小学校

H29. 7. 18

No. 13

## PTA 参観日、ありがとうございました。

11日のPTA参観日には、たくさんの方々にお越しいただき、本当にありがとうございました。あの気温の中での参観でしたので、さぞかし大変だったことと思いますが、子ども達はおうちの方が来てくれるということで、どの学級もいつも以上にがんばっている子ども達の姿が見られました。



写真を撮って歩きましたが、子ども達が集中して学習に取り組んでいる様子を撮ることができました。教育委員訪問、教育事務所・所長訪問と色々な方々に授業を見ていただく機会が続きましたが、そういった体験の中で子ども達の集中力が磨かれてきたように思います。今年度は、特に「算数の授業」に力を入れています。来年度、本校が大曲仙北教育研究会の算数の会場校となっています。たくさんの算数・数学の先生方が、本校の授業を参観して研修を行います。六郷小学校の子ども達の良さを発揮できる授業を目指し、職員も研修に励んでいきたいと思ひます。

## 窓ふき作業、ご苦労様でした。

親子での、窓ふき作業もありがとうございました。あの暑さの中での作業で、本当に大変でしたが、皆様のご協力を得ることができて、校内も明るくなりました。子ども達も、おうちの方と一緒に作業ということで、いつも以上に張り切ってがんばってくれていました。

なかなかこういう機会でない、窓ふきには取り組みません。ましてや高いところの窓ふきを子ども達にさせることはできません。そういった点でも、皆さんに取り組んでいただけることは、学校としても本当に助かっています。多くの保護者の皆様のご協力、本当にありがとうございました。



## 見守り隊の皆さん、7月18日（火）～21日（金）よろしくお願いします。

7月18日～21日は、子ども見守り隊の「見守り&あいさつ強調週間」です。できる時間に、できる所での、「見守り」と「あいさつ」をお願いします。特にあいさつは、「学校ではいいが、地域ではできていない。」という声を聞きます。見守り隊の皆さんに声をかけていただくことで、あいさつの意識を高めさせたいと思ひますので、よろしくお願いします。

## ドリーム体験！ほんもの講座

## パパだって読み聞かせ

7月4日（火）、町主催の低学年「ドリーム体験 ほんもの講座」が行われました。例年、公民館で劇などを鑑賞していましたが、今回は学校で「安藤哲也さんの読み聞かせライブ」を行いました。安藤さんは、東京の方で、働き方に関する講演会やセミナー、そして読み聞かせで全国を回っておられる方です。昨年、町の読書フェスティバルに来ていただいて、好評だったこともあり今回の開催となりました。



写真を見ていただければわかるように、私たちがイメージした読み聞かせとは、だいぶ違っていました。ただ単に読むのではなく、歌が入ったり、安藤さん独自の語り口調だったりして、笑いの絶えない1時間となりました。最後には、子ども達とタッチをしてお別れしました。

安藤さんは、二男一女の父親で、「育児も、仕事も、人生も、笑って楽しめる父親を増やしたい」とファザーリングジャパンを設立して、講演や企業セミナー等で全国を飛び回っています。本当に自分も絵本を楽しんでいて、その楽しさを子ども達に伝えたいという強い思いを感じた1時間でした。

## 子ども達は認められたい！ ～家庭学習強調週間の意味～

今週は、夏休み前の「家庭学習強調週間」です。前回の強調週間の際に、私（校長）が全校の家庭学習ノートを見せてもらい、コメント書かせてもらいました。その際に感じたことは次の通りです。

（良かった点）

- 子ども達が時間をかけて勉強していると感じる内容である。（中には、ここぞとがんばる子もいます。）
- おうちの方々が、毎日のようにコメントを書いて下さっている。
- 高学年になると、「めあて」「振り返り」が書かれている。

子ども達は、「自分を認めてほしい。」と感じています。ですから、低学年の子ども達などは、廊下ですれ違ったときなどでもどんどん話しかけてきます。また、授業を見に行ったときでも、気になることを注意するよりも、何とかいい所を見つけて伝えるようにすると、子ども達はますますがんばろうとします。人の欠点はすぐ見つかるものです。ところが、良いところはしっかり見ていないと、見つけられません。

さて、家庭学習のコメントですが、皆さんの書いてくださった内容は、「問題点を指摘すること」が多いか、「良いところを見つけてほめる」ことが多いか、どちらでしょうか。もちろん、間違いを正すことは大事ですが、もし自分の子どもさんに「やる気をつけさせたい」のであれば、些細なことでも見つけて褒めることが必要だと思います。

褒めることは修行が必要です。私も教師になりたての頃、毎日叱ってばかりいました。当然ながら、学級経営がうまくいくはずがありません。そこで、毎日「明日は褒めるぞ」と誓って学校に向かうのですが、やはりできません。そのことを何日も修行する中で、だんだん自然に褒められるようになりました。

ちょっと大変なのですが、どうか子ども達の家庭学習ノートの良さを毎日見つけるという挑戦をしてみてください。ちょっとしたことで、子ども達はうれしく感じ、次の意欲につながるはずです。